

エンジニアパーク

Engineer *Ring* Park



植田 和俊 建設部門（建設環境）

勤務先：パブリックコンサルタント(株)

今、私の前に現場から持ち帰りホルマリン漬けになったトゲウオがいます。最近2歳になる娘が、魚を主人公にした米国アニメに夢中です。ダイバーに捕獲された息子を父が助けに行くという物語ですが、このトゲウオも♂（お父さん）が巣を作り卵の世話をします。ひっそりと夫婦で過ごし、これから卵が孵るはず……が。

仕事柄様々な生き物を扱いますが、我々の判断に多くの命が委ねられていること、自然の営みが不可逆であることに重責を感じます。

私は、公共事業に関わる環境保全に貢献したいと、平成8年にこの業界に仲間入りさせていただきました。

河川、道路、港湾、農業などなど、様々な土木事業の中で環境調査を中心に様々な経験をさせていただいております。入社当初の壁は、土木用語、業界用語、凶面の見方など業務上のい・ろ・はで、内外の先輩には苦勞をかけました。また、動植物の様々な専門家からも指導や助言を頂きながら成長させていただきました。

業界に入り今9年目を迎えますが、「自分に何ができるか」ということを、とても重く感じるようになりました。「技術」で解決できることとできないこと、この見極めが今後の課題と考えております。

ハイテク全盛の昨今ですが、自然環境の応答を見る限りローテクが一番良いと薄々感じています。是非「土・木」に立ち返り、真に国民が豊かさを感じられる国土について再考してみたいかがでしょうか？

トゲウオ達の明るい未来を夢みて……。



次号は、志田祐一郎さん（環境／建設部門）



西 恭二 農業部門（農業土木）・総合技術監理部門

勤務先：株式会社 アルファ技研

TEL(011)662-1201 FAX(011)662-1301 E-mail : nishi@alpha-giken.co.jp

【自己紹介】 私は、1962年（昭和37年）函館で生まれ、1981年（昭和56年）風雪の津軽海峡を青函連絡船で渡り、弘前で農業土木をよく学び（よく遊び）、1985年（昭和60年）札幌にきて株式会社アルファ技研に入社してから、ちょうど20年が経ちました。この間、主に土地改良事業の水管理、水利・水文に関する業務に従事し、業務から、農業土木は勿論、気象、電気・通信、また各種研究機関の諸先輩技術者（技術士）との多くの関りの中で、平成13年度農業部門、平成16年度には総合技術監理部門の技術士として、当センター会員の仲間入りをいたしました。

【技術士（私）は何ができるか、何をすべきか】 技術士ビジョン21が策定され、また、昨年（2004年）札幌で開催された技術士全国大会（—技術士は何ができるか、何をすべきか—）に参加し「社会貢献」について考える機会を得ました。その分科会の一つでは、「技術士が日常業務のみを通じて社会貢献を行っていると考えるのは、技術士の思い上がりである」との意見もあり、日常業務に追われる私（企業内技術士）にとっては厳しい一言でありました。「社会貢献」の意味するところが、地域社会が抱える多くの問題解決に向けて積極的・能動的に行動するという事なら、今は技術提案型の業務によって、農村地域社会が抱える問題解決に向けて、少しでも貢献していければと考えています。（今できることから考えよう……）



次号は、佐野隆史さん（農業部門）